幼稚園だより

学校法人ふれ愛チャイルド
ときわみなみの幼稚園
NO.1　令和元年5月14日発行

令和元年度へと元号が変わり、心新たに令和に夢と希望を持って園運営を行ってまいりたいと思います。先日の教育運営説明会と幼保連携型認定こども園説明会では85名のご参加を頂きありがとうございました。幼保連携型認定こども園令和2年4月開園に向けての現時点までの進行状況をお伝えしましたが、その後の内容とスケジュールに関しましては、7月上旬(予定)の施工入札後にお示しいたしますのでよろしくお願い致します。今年度は、ときわみなみの幼稚園の自然豊かな環境と特徴を生かした教育の方針と目標を新たに掲げ、幼児教育の質の向上へと繋げていきます。

＜教育の方針＞

遊びの中から学ぶ「遊び保育」を柱とし、「主体的・対話的で深い学び」を育み小学校へと繋げていきます。子どもが「おもしろそう」「やってみたい」と感じ、意欲的、主体的に関われるような豊かな環境を、意図的、計画的に構成していきます。

また、一人ひとりの子どもに対する理解と配慮を大切にしていきます。

＜幼稚園の目標＞

① 豊かな自然体験で「素直に感じる心」を育みます。
② 遊びや生活の中で、「感性や表現力、思考力やコミュニケーションの力」などを育みます。
③ 異年齢の子どもとの関わりを通して、年下の子どもたちへの「思いやり」や年上の子どもたちへの「憧れ・大きくなることへの期待」などを育みます。
④ 生活の中で使う言葉や絵本などを通して、「見る・聞く・話す力」をしっかりと育みます。

「にこにこデー・アート体験」－芸術の森(アトリエA)にて-

にこにこデーの異年齢交流活動の中で、毎回1グループずつ芸術の森「アトリエ A」でキッズアートの体験教室を行います。講師は、工藤えり先生(Kids アートはるの木主帝)です。13日の1回目は「つきグループ」です。絵具のシャボン玉赤・青・黄の三原色を使い色の混ざり方などを楽しむ自由創作の後は、アトリエにある、たくさんの材料・素材から自由に創作を楽しみました。みんな飛びつくように興味・関心のあるものを探してそれぞれ創作に取り掛かりました。素材の豊富さにどれにしようか迷います。そして考え・工夫し・失敗しては、挑戦し、どの子も夢中になって創作していました。アトリエの雰囲気もそうですが、素材の豊富さが子どもたちの創作意欲を掻き立てるのに重要であることを改めて痛感しました。

「kidsアートはるの木」

はるの木は、個を伸ばす教育として知られる北イタリアの「レッジョエミリア教育」の概念を取り入れ、お子さまのクリエイティブな発想力、感性を育みます。創作までのプロセスを大切にしますので、作品の評価はありません。お子さま自身が自由に思うまま、心ゆくまで創作活動を楽しむことをコンセプトに活動をしておられます。本園の子どもたちにもはるの木のアートを体験させたいと思いました。また、先生たちにも研修を兼ねて導入致しました。教室名を検索しましたら、HP、ブログ、twitter、などご覧なれます。

芸術の森での教室も行っています